

3月定例議会

平成24年度串本町一般会計予算

91億3,100万円(前年度比6.5%減少)

主な事業

B&G海洋センター、サンゴの湯（指定管理料）	3,000万円
地方バス路線維持対策費	2,386万円
橋杭岩前駐車場整備事業	1億6,585万円
シャトルバス等運行业務委託料	959万円
防災行政無線デジタル統合工事	3億2,203万円
一筆地測量委託料	2,300万円
田原、住宅団地建設事業（測量設計委託料）	2,060万円
町社会福祉協議会運営費補助金	2,450万円
動鳴気漁港地域水産物供給基盤整備工事	2,500万円
へき地保育所委託料	2,682万円
予防接種委託料	1,925万円
串本海中公園内避難路整備工事	350万円
磯根漁場再生業務委託料	300万円
日ト友好映画製作準備委員会補助金	200万円



シャトルバス



B&G海洋センター



海から見た橋杭岩と貝店

まず仲江議員より、一般会計予算から磯根漁場再生業務委託料の300万円を減額する修正案が出され、採決の結果修正案賛成議員(2名)

仲江、和田(孝)

以上で仲江議員提出の修正案は少数否決。続いて漆畑議員より、一般会計予算から日ト友好映画製作準備委員会補助金の200万円について、映画製作時に基金から拠出していくのが望ましいと修正案が出され、採決の結果修正案賛成議員(6名)

松下、川端、川勝、水口、漆畑、角

これにより漆畑議員提出の修正案も少数否決となりました。続いて原案に対する採決が行われました。

原案賛成議員(11名)

仲江、結城、和田(良)、村上、和田(孝)

橋倉、寺町、橋爪、沼谷、岡、梅野

原案反対議員(6名)

松下、川端、川勝、水口、漆畑、角

以上の結果で提案通り原案が可決となりました。

24年度一般会計予算は2本の修正案が提出されましたが、採決の結果、それぞれの修正案は否決となり、町長の提案した原案が可決されました。

3月定例議会

概要

平成24年第1回定例会は、3月6日(火)より23日(金)までの日程で開催されました。
 条例案件15件、補正予算案件10件、その他の案件6件、意見書3件の審議が行われました。



観光物産拠点施設



古座福祉センター

主な議案と説明

○監査委員の選任
 任期満了に伴い、佐藤 優氏を再任する事が同意されました。

○出雲財産区管理委員の選任
 西 謙護氏(再) 阿波 功氏(新)
 嶋 剛一氏(新) 金田 健治氏(新)
 堀口 泰稔氏(新) 浅井 信之氏(新)
 下地 一夫氏(新)
 ※前任者の辞任に伴い、再任1名と新人6名が全員一致で同意されました。

○和深財産区管理委員の選任
 堅田 修氏(再) 平野慎一郎氏(再)
 西村 勇氏(再) 寺本 正氏(新)
 ※任期満了に伴い、再任3名と新人1名が全員一致で同意されました。

○古座福祉センターの指定管理者の指定
 串本町古座福祉センターの指定管理者として、串本町社会福祉協議会が指定されました。(期間は、平成24年4月1日より5年間)

○観光物産拠点施設等の指定管理者の指定
 串本町観光物産拠点施設(古座駅舎等

の指定管理者として、古座観光協会を指定します。(期間は、平成24年4月1日より5年間)

○課設置条例の一部改正
 公営住宅使用料の徴収率向上のため、同使用料の徴収に関する事務を建設課から税務課に移管します。

○乳幼児医療費の支給に関する条例の一部改正
 入院医療費の支給を現在の「6歳から15歳」中学校卒業までの子どもに係るものまで、支給対象を拡大します。

○へき地保育所条例の一部改正

3月31日をもって、有田保育所が閉園になり、田並保育所に統合されたので、有田保育所の項目を削除しました。「へき地保育所」とは、児童福祉法第39条に規定する保育所を設置することが著しく困難であると認められる地域に市町村が設置する施設です。これにより町内のへき地保育所は田並・和深・大島の3か所となりました。

○介護保険条例の一部改正

介護保険料が3年に一度の改正の年に当り、9千万円の基金を取り崩して値上げ幅を抑えましたが、基準額は4410円となり672円の値上げになりました。
 ※県下平均は、5501円です。